

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業創造課  
 担当名：CE・ものづくりイノベーション推進  
 内線：3737 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P32	サーキュラーエコノミー推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	サーキュラーエコノミー推進事業費	
事業期間	令和5年度～令和12年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	8, 9, 12
						分野施策	1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsターゲット	8-4, 9-4, 12-5
1 事業概要	日本及び世界でサーキュラーエコノミー(CE)への転換が推進されており、県内企業の中長期的な事業の継続性及び競争力の確保のため、県内企業を支援する。 ア サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援 △1,683千円 イ 食のCEリーディングモデル構築支援 (イ) 食のCE技術導入支援 88千円 (イ) SAITEC北部研究所による技術的支援 △705千円 ウ 広域連携による衣料品の再生製品化の推進 △7,202千円 エ CE推進センター埼玉の運営 △141千円 オ CEスタートアップ企業ビジネスプランコンテスト △11千円 カ 大企業と県内企業のマッチング △496千円 キ バイオプラスチックの実用化研究 △467千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援 60,453千円 イ 食のCEリーディングモデル構築支援 (イ) 食のCE技術導入支援 61,958千円 (イ) SAITEC北部研究所による技術的支援 3,122千円 ウ 広域連携による衣料品の再生製品化の推進【新規】 7,598千円 エ CE推進センター埼玉の運営 41,533千円 オ CEスタートアップ企業ビジネスプランコンテスト 8,989千円 カ 大企業と県内企業のマッチング【新規】 14,704千円 キ バイオプラスチックの実用化研究 3,658千円 (2) 事業計画 令和7年度 県内企業のCE推進のため、リーディングモデル構築・展開、CE推進センター埼玉によるマッチング等、普及啓発・情報発信を行う。 (3) 事業効果 リーディングモデルの構築・展開、企業の技術的な相談への対応やマッチングの実施、県内企業の認知度の向上により、県内企業をCE型ビジネスモデルに転換し、事業の継続性と競争力につなげる。 【活動指標(アウトプット)】サーキュラーデザインや食のCEに関する補助件数 6件 広域連携による衣料品の再生製品の販売促進に向けたPRの実施 CE推進センター埼玉でのマッチングや研究会、大規模展示会出展など CEスタートアップ企業ビジネスプランコンテストの開催など 【成果指標(アウトカム)】リーディングモデルとなるビジネスモデルの構築 10件 (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 国や他の地方公共団体、県内経済団体、金融機関等と連携し、CEの取組を推進する。 (5) 補正予算の概要 ・事務費の節減により生じる執行残の減額 ・補助金交付額が見込みを下回ることによる減額 ・入札差金により生じる執行残の減					
2 事業主体及び負担区分	ア (県2/3)事業者1/3 イ(イ)(県2/3)事業者1/3、(県3/4)小規模企業者1/4 イ(イ)、エ、オ、キ (県10/10)、(県10/10)公社0 ウ、カ (国1/2・県1/2)、(国1/2・県1/2)公社0								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4.2人=39,900千円								
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	△10,793	△3,979						△6,814	202,015
現計額	212,808	14,670						198,138	

## 事業内訳書

事業名	サーキュラーエコノミー推進事業		
単位事業名	サーキュラーデザイン	リーディングモデル構築支援	予算額 $\Delta$ 1,683千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	$\Delta$ 1,683	—	
合計	$\Delta$ 1,683	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	$\Delta$ 81	—	事務費の節減等による減
需用費	$\Delta$ 10	—	事務費の節減等による減
役務費	$\Delta$ 7	—	事務費の節減等による減
負担金、補助及び交付金	$\Delta$ 1,585	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	$\Delta$ 1,683	—	

単位事業名	食のサーキュラーエコノミー技術導入支援	予算額	△ 88千円
-------	---------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△88	—	
合計	△88	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△71	—	事務費の節減等による減
需用費	△10	—	事務費の節減等による減
役務費	△7	—	事務費の節減等による減
合計	△88	—	

単位事業名	食の再資源化トライアル拠点による技術的支援	予算額	△ 705千円
-------	-----------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△705	—	
合計	△705	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△340	—	事務費の節減等による減
旅費	△55	—	事務費の節減等による減
需用費	△285	—	事務費の節減等による減
役務費	△25	—	事務費の節減等による減
合計	△705	—	

単位事業名	広域連携による衣料品の再生製品化の推進	予算額	△ 7,202千円
-------	---------------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 商工業費補助金	△3,749	—	【内閣府】 新しい地方経済・生活環境創生交付金 補助率 定額
一般財源	△3,453	—	
合計	△7,202	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△44	—	事務費の節減等による減
需用費	△10	—	事務費の節減等による減
役務費	△10	—	事務費の節減等による減
負担金、補助及び交付金	△7,138	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	△7,202	—	

単位事業名	サーキュラーエコノミー推進センター埼玉の運営	予算額	△ 141千円
-------	------------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△141	—	
合計	△141	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△54	—	事務費の節減等による減
需用費	△43	—	事務費の節減等による減
役務費	△44	—	事務費の節減等による減
合計	△141	—	

単位事業名	サーキュラーエコノミースタートアップ企業ビジネスプランコンテスト	予算額	△ 11千円
-------	----------------------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△11	—	
合計	△11	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△7	—	事務費の節減等による減
役務費	△2	—	事務費の節減等による減
委託料	△2	—	入札差金により生じる執行残の減
合計	△11	—	

単位事業名	大企業と県内企業のマッチング	予算額	△ 496千円
-------	----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 商工業費補助金	△230	—	【内閣府】 新しい地方経済・生活環境創生交付金 補助率 定額
一般財源	△266	—	
合計	△496	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△36	—	事務費の節減等による減
委託料	△2	—	入札差金により生じる執行残の減
負担金、補助及び交付金	△458	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	△496	—	

単位事業名	バイオプラスチックの実用化研究	予算額	△ 467千円
-------	-----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△467	—	
合計	△467	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△35	—	事務費の節減等による減
需用費	△432	—	事務費の節減等による減
合計	△467	—	